

「フレンチ・キス」

旅には素敵な恋がある

パリは恋の女神が住んでいるの

のようだ。

だろうか。『カサブランカ』で、酒場を営むリック（ハンフリー・ボガード）が偶然再会した、今は人妻となったかつての恋人イルザ（イングリット・バーグマン）と、恋に落ちたのはパリだった。彼女が酒場で黒人ピアノリストのサムにリクエストしたのは思いでの曲『As Time Goes By』。そのメロデー

いよいよながらパリに行き、新しい出会いと恋を見つけてしまったのは、『フレンチ・キス』のケイト（メグ・ライアン）である。彼女は婚約していた。あるとき彼女チャーリー（テイモシー・ハットン）がカナダからパリに出張をすることになる。だが、ケイトは飛行機恐怖症で、どうしても飛行機が怖い。結局、彼は一人で出張にいくことになった。

あろうことか、彼がエレベーターで、パリの恋人と熱烈にキスをする光景だったのだ。ケイトは失神してしまった。彼女が倒れた隙に、彼女の持ち物が、すべてなものかに持ち去られてしまった。

とともに、思い出のパリが蘇る。フランスで画家になることを夢みて住みつき、香水店の若い女性（レスリー・キャロン）に恋をしたのは、『巴里のアメリカ人』の、ジュリー（ジーン・ケリー）だった。『パリの恋人』では、パリのファッション雑誌のカメラマンのディック（フレッド・アステア）に見出されたニューヨークの女の子ジョー（オードリ・ヘプバーン）は、パリでのロケの中で、ディックに恋をうちあけられ、やがて二人は愛しあうようになった。

「宿命の女神が現われた。フランスのビーナスを手に入れた。恋をしたんだ。映画みたいなロマンスだ。つまり、愛だ。許してくれ」チャーリーは、本当にまるで映画のように、パリで熱烈な恋に落ちてしまった。

そんなときにやってきたのがリュック（ケビン・クライン）だ。彼は飛行機で一緒だった男である。実は彼は彼女の鞆に、税関逃れのために葡萄の苗に高価なネックレスを巻き付けて、忍ばせておいたのである。

こうしてケイトは、彼を取り戻すためにカナダからパリへと必死の思いで飛行機に乗り旅立った。彼が滞在するホテルに辿り着き、たまたま目撃してしまったのが、

リュックは彼女に同情を装い、彼女を連れて鞆を取り戻しに出掛ける。ホテルに徘徊していた男を見つけたし、鞆も葡萄の苗も取り戻せた。二人は別れた。だが、葡萄

葡萄の苗には、あるはずのネックレスはない。驚いたリュックは再びケイトを追うことになる。一方、ケイトはチャーリーを追って、二人の向かったカンヌへと旅に出る。こうしてリュックとケイトの珍道中が始まった。リヨン駅から夜行列車にゆられて、美しいプロバンスの風景を観ながら、一路カン



金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamari
平野恵理子=絵
illustration by Eriko Hirano

OTHERS

現実とはなかなかうまくいかないけれど、映画では旅先にもいつも素敵な恋が待っている。ハリウッド映画ではなんといってもパリとイタリアが、ロマンティックな恋の都の代表。これらの都市を舞台にした作品をご紹介します。



巴里のアメリカ人 *An American in Paris*

【'51・米】 監ビンセント・ミネリ
 出ジーン・ケリー/レスリー・キャロン
 113分 3800円
 ワナー・ホーム・ビデオ

画家を目指してパリへとやってきた青年ジュリー。彼はあるとき香水の店で働くパリジェンヌと知り合い、恋に落ちる。今年、惜しくも亡くなったジーン・ケリーの代表作のひとつで、彼の華麗なダンスが楽しめる一作。ジョージ・ガーシュウインの同名の曲を映像化したアカデミー賞受賞作。

愛の泉 *Three Coins in the Fountain*

【'54・米】 監ジーン・ネグレスコ
 出ドロシー・マクガイア/ジーン・ピーターズ
 102分 3800円
 フォックス・ホーム・エンターテイメント

ローマで働く3人のアメリカ娘。素敵な恋を夢見て、トレビの泉に願いをかける彼女たち。やがて、3人の前にそれぞれ魅力的な男性が現れて…。歴史と文化の街、ローマの美しさがふんだんに盛り込まれた、夢いっぱいラブ・ロマンス。原題と同名の曲もフォー・エイセスの歌で大ヒットした。



パリの恋人 *Funny Face*

【'57・米】 監スタンリー・ドーネン
 出A・ヘプバーン/フレッド・アステア
 103分 3800円
 CIC・ビクター

ニューヨークの本屋で働くジョーは、地味な女の子。ところがある日、ファッション・カメラマンの目に留まり、パリの一流モデルへと大変身。いつしか二人は愛し合うようになる。主役のオードリーが女らしく変わっていく過程と、彼女が身につける華麗なファッションの数々も見もの。

旅情 *Summertime*

【'55・米】 監デビッド・リーン
 出キャサリン・ヘプバーン/ロッサノ・ブラッツィ
 103分 3800円
 東北新社

適齢期を過ぎ、孤独を感じる女性が、休暇で一人ベネチアを訪れる。そんな彼女にベネチアン・グラスの店を経営する男が声をかけ、二人は東の間の恋に胸を焦がす。しかし男には妻子があり、それはしよせん旅先の恋だった。監督は『アラビアのロレンス』などで知られる名匠D・リーン。



スへ。ところが、ケイトは、朝食にフランスパンとチーズを食べ過ぎて、具合が悪くなる。降り立ったのは、美しい葡萄畑の広がるリュックの故郷だ。

ここでケイトはリュックに、彼のこととワインのことを知ることになる。彼が導いてくれた小屋の隅にあったのは、彼が学校時代に造った香りの箱。リュックはケイトにまずワインを飲ませ、ワインの感想を具体的に述べさせる。それから箱にある香りの瓶を嗅がせ

るのだ。ローズマリー、マッシュルーム、ミント、スグリ、ラベンダー……。そうしてもう一度ワインを飲むと、ワインの放つ香りの種類が、スグリと微かにラベンダーが混っているということが分かるのである。

リュックは語る。
 「ワインは人間と同じで土地に左右される」

ケイトは初めて彼に好意を抱き、彼の頬にキスをした。

再び旅は始まり、カンヌへと向

かった。ケイトはリュックからチヤリーに冷静に対処する指南を受けるのだったが、やがて彼女は元の恋人に決別し、新たなリュックへの恋と魔法は変わった。

かつての婚約者を卒業したケイトは、一人カナダに戻ることにし、飛行機に乗った。そこへリュックがやってきた。

「俺の夢はワイン畑の上にある」
 「でも私の夢は…」
 「なんだい」
 「あなたよ」

「もう飛行機に乗らなくていい。俺が君に求めるのは、君自身」

二人は葡萄畑に立った。そこに歌が流れる。

♪目を閉じ抱きしめれば、たちまち魔法がかかる溜息の出るキス♪

「フレンチ・キス」 French Kiss 1995年
 監督ロレンス・カスタン
 出演メグ・ライアン、ケビン・クライン、ティモシー・ハットン、スーザン・アンビー、ジャン・レノ、フランソワ・クルゼ
 11分 164800円(レンタル中)
 CIC・ビクター

※価格はいずれも税込。